

# 品質マネジメントシステム

## より高品質な製品を実現するために

「お客様に満足いただける製品とサービスの提供」をより確実に、より効率的に推進するため、全社で品質および環境マネジメントシステムの継続的改善に努めるコミットメントとして、毎年度、品質・環境方針を設定し、当社で、または当社のために働く全ての方々に周知しています。

### 方針

品質・環境方針では、「お客様に満足いただける製品とサービスの提供」をより確実に、より効果的に推進するため、次の方針を掲げ、全社で品質マネジメントシステムの継続的改善に努めています。

### 【品質】

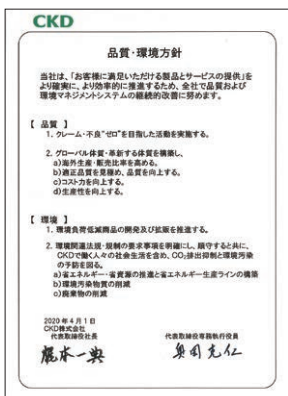
1. クレーム・不良“ゼロ”を目指した活動を実施する。
2. グローバル体質・革新する体質を構築し、
  - a) 海外生産・販売比率を高める。
  - b) 適正品質を見極め、品質を向上する。
  - c) コスト力を向上する。
  - d) 生産性を向上する。

品質の方針は、品質目標につながる不具合の発生防止を原点にし、体質改善の対象を海外、品質、コスト力、生産性とすることで、継続的改善に取り組んでいます。

ISO9001を柱にした品質マネジメントを構築し、年2回の内部監査とマネジメントレビューで運用状況を

評価するなど、持続的な品質向上に取り組んでいます。また、毎年11月は品質月間として、海外子会社を含む全従業員が参加し、品質重視の意識を高める取り組みをしています。

品質・環境方針



国内外のCKDグループ  
各社でISOの認証を取得

## ISO9001、ISO14001取得状況

|                     | 取得認証     | 取得日        |
|---------------------|----------|------------|
| CKD (株)             | ISO9001  | 1994年6月24日 |
|                     | ISO14001 | 2000年12月8日 |
| CKD THAI CORP. LTD. | ISO9001  | 2004年1月14日 |
|                     | ISO14001 |            |
| 喜開理(中国) 有限公司        | ISO9001  | 2009年1月4日  |
|                     | ISO14001 |            |
| CKD日機電装(株)          | ISO9001  | 2018年3月16日 |

### 取り組み

#### 事例① 自工程完結の定着活動

不良を作らない・作り続けない・不良を後工程に流さない

クレームゼロ、不良ゼロを目指した自工程完結\*1の定着活動を品質方針に掲げ継続した活動として強力的に推進しています。

定着に向けた主な活動として、今年で5年目となる「Challenge1000\*2」に加え、今年度より製造部のチーム単位で不良半減活動に取り組んでいます。

これらの活動を通して工程不良のQCストーリーによる改善と、自工程完結を実践しながら学ぶ教育の場としても取り組んでいます。

本活動は国内工場のみならず、海外生産拠点でも同様に取り組んでおり、全世界のお客様に安心して当社製品をお使いいただくため、「現場力の向上」に努めています。

\*1 自工程完結とは

品質やライン・機械の作り込みにより、自分の工程で作ったものは自分で品質を保証するという考え方のこと。後工程はお客様という考えで、不良を作らない・作り続けない、流さないこととする。良品を作るための生産条件と良品であることを判断する判定基準を定量的、具体的に定めることがポイント。

\*2 Challenge1000とは

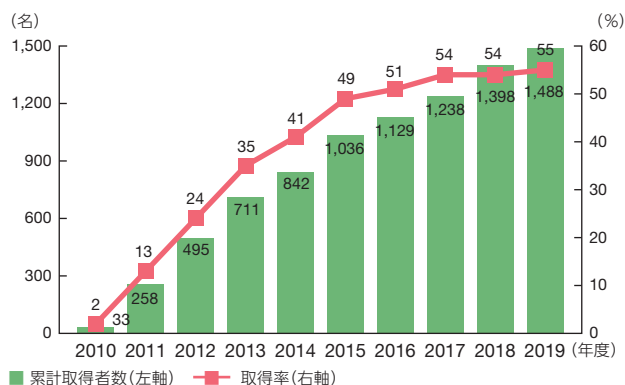
工場単位で不良率の高い量産ラインを重点ラインに定め、不良率低減目標1,000ppm(0.1%)を目指し、継続的な改善に全部門が総力で取り組む当社の活動で、活動を通しQCストーリーに沿った改善および自工程完結を実践教育(OJT)する活動。

## 事例② QC 検定受験によるスキル向上

### QC 検定による啓蒙で全社の品質意識を向上

全社の品質意識の向上を狙い、2010年度からQC（品質管理）検定受験に対する啓蒙活動をスタートし、2019年度までの10年間で1,488名が合格しました。また、これらの合格者の中には、技術・生産・購買のみならず営業・本社スタッフも多数います。QC検定に挑戦する過程で、品質の基礎知識を知り、共通の言葉で会話ができることが最大の成果で、管理や改善の進め方に大いに活かしています。QC検定の受験は、全社の教育訓練計画書で毎年計画され、持続的な活動として全社レベルで根付いています。また、社内講師による受験直前の講習会を開催するなど、合格に導く活動にも精力的に取り組んでいます。

### QC 検定 取得者の推移



## 事例③ 品質月間の取り組み

### お客様に満足いただける製品とサービス

毎年11月に開催する「品質月間」では品質月間メッセージの発信、役員QCパトロールの実施、品質活動の報告と評価、品質標語の募集と表彰などの行事を全員参加で実施します。「品質月間」では品質目標の状況、日頃の改善活動について点検し、気付きの機会とするだけでなく、達成した成果を表彰し、現場力およびモチベーションの向上を図っています。また、品質月間メッセージにより趣旨を伝達し、国内外の従業員とのコミュニケーションを図り、品質に関する認識を深めています。



QCパトロール

さらに、社長・役員によるQCパトロールでは生産工場の製造現場の品質状況を直に点検し、品質にコミットメントしています。

## 事例④ QC マイスター制度の導入

### 品質の要として活躍するエキスパート育成

品質のエキスパートとして活躍できる人材を育成し、職場で品質の要として活躍していただくことを目的に、品質マイスター制度を導入しました。

QC一つ星マイスターから三ツ星マイスターまでの称号を設定し、最高ランクの三ツ星マイスターはQC検定1級取得が条件の一つで、難易度は極めて高くなっています。認定を受けることがステータスとなり、モチベーションがさらに高まり、当社の品質を牽引する人材として活躍することを期待します。

## 事例⑤ 検査の自動化への取り組み

### 外観検査を人に頼らず画像処理で自動化

定量判断が難しく、人の目に頼る目視検査におけるヒューマンエラーが課題となっている中で、当社では目視検査の自動化を全工場で展開しています。必要となる画像認識・処理は、当社が20年以上培ってきた画像処理技術を応用し、簡単に使うことのできる「Facilea」\*3を導入し、加速して展開を進めています。

\*3 Facileaとは  
2020年5月に発売した画像処理ビジュアルプログラミングツール。

## 事例⑥ 購買先様への品質啓蒙活動

### 品質方針展開と品質改善活動

当社では、毎年品質月間行事の一環として、主要購買先様に対して品質方針を展開しています。品質方針説明や過去1年間の品質状況の報告に加え、品質保証部門から変更管理\*4の重要性に係る説明等を行っています。また、各購買先様における品質管理状況および2次購買先様への説明状況のアンケートを実施し、品質方針が確実に展開されるようフォローを実施しています。

\*4 変更管理とは  
当社のモノづくりのなかで、製造方法、材料、機械設備等を変更する際、お客様に納めさせていただく製品に対し、予測されるリスク（不具合）が最小限になるよう管理すること。確認試験に加え、お客様に対し変更する旨の申請を行い、許可が下りた後に変更を実施。